

無痛分娩関係学会・団体連絡協議会  
市民公開講座  
—無痛分娩の安全性向上のために—

2019年3月24日

**無痛分娩関係学会・団体連絡協議会  
(JALA) 発足までの経緯と発足後の活動**

JALA総会・議長  
**海野信也**  
(北里大学医学部・産科学)

**構成**

- JALAはなぜできたのか
- JALA発足後の活動状況

JALAはなぜできたのか  
無痛分娩の安全性への懸念の高まり

- 2017年4月: 日本産婦人科医学会等によって構成される母体死亡症例検討評価委員会は、検討が完了した妊産婦死亡症例271例中、無痛分娩実施症例が14例(5.2%)含まれていたことを公表しました。無痛分娩では母体死亡が多くなるのではないか、という疑問が生じました。
- 2017年4月末から10月頃まで: 硬膜外麻酔の際の全脊髄麻酔と考えられる合併症のために、母体の状態が急変し、母子が死亡したり、障害が残ったりした事例が繰り返して報道されました。
- 2017年6月: 日本産婦人科医学会は、無痛分娩の実態と合併症の発生状況の把握のため、全分娩施設を対象に、「分娩に関する調査」を開始しました。
- 2017年8月: 厚労科研特別研究班「無痛分娩の実態把握及び安全管理体制の構築についての研究」(特別研究班)が設置され、専門学会・団体からの推薦による研究協力者等による検討を通じて、無痛分娩の安全性向上策について医療界全体としてのコンセンサス形成を目指すことになりました。

JALAはなぜできたのか  
平成29年度厚労科研特別研究班「無痛分娩の実態把握及び安全管理体制の構築についての研究」(特別研究班)の構成

**日本医師会**

**日本看護協会**

無痛分娩に関係した学会・団体がすべて参加している場で、合意形成を行う。

JALAはなぜできたのか  
平成29年度厚労科研特別研究班「無痛分娩の実態把握及び安全管理体制の構築についての研究」(特別研究班)でわかったこと

- 無痛分娩は増えている。
- 無痛分娩の方が母体死亡率が高いかどうかは、現存のデータではわからない。
- 無痛分娩の安全性確保のための基本的な約束事が決まっていない。  
—「安全な無痛分娩を提供するために必要な診療体制」について関係学会・団体の合意事項を示すことになりました。

無痛分娩を提供するための必要な診療体制のイメージ

施設管理者または部門長

無痛分娩麻酔管理者

麻酔担当医

無痛分娩研修修了助産師・看護師

助産師・看護師

【無痛分娩の通常管理】

【分娩管理・危機管理】

無痛分娩看護マニュアルの共有

無痛分娩マニュアルの共有

危機対応シミュレーションの実施

・施設管理者・無痛分娩麻酔管理者・担当産科医・麻酔担当医は、その役割を果たすことが出来る範囲で兼務することが可能。兼務に際しても、無痛分娩麻酔管理者は、無痛分娩とそれに関連する業務の管理・運営責任を負い、リスク管理に責任を負うものとする。  
・無痛分娩研修修了助産師は、その役割を果たすことができる範囲で、自ら分娩助産を行うことが可能。

JALAはなぜできたのか  
特別研究班の「提言」

- 2018年3月:特別研究班が関係学会・団体の合意に基づく「無痛分娩の安全な提供体制の構築に関する提言」を発表しました。
- 「安全な無痛分娩を提供するために必要な診療体制」
  - インフォームド・コンセントの実施
  - 安全な人員体制(無痛分娩麻酔管理者・麻酔担当医・無痛分娩研修了助産師・看護師等を明示することによる責任体制の明確化)
  - 無痛分娩に関する安全管理対策の実施(施設の方針の作成・無痛分娩マニュアルの作成と周知・無痛分娩看護マニュアルの作成と周知・危機対応シミュレーションの実施等)
  - 設備及び医療機器の配備(蘇生設備・医療機器・救急用医薬品・母体用生体モニター)

JALAはなぜできたのか  
特別研究班の「提言」

- 実現のための方策
  - 「無痛分娩に係る医療スタッフの研修体制の整備」
  - 「無痛分娩の提供体制に関する情報公開の促進」
  - 「無痛分娩の安全性向上のためのインシデント・アクシデントの収集・分析・共有」
  - 「無痛分娩に関するワーキンググループ(仮称)」の設置

JALAはなぜできたのか  
「どうしたら安心してお産ができる体制に移行できるのか」  
情報公開を通じた安全対策の推進

- 「安全な無痛分娩を提供するために必要な診療体制」を決めても、人材確保が難しいため、今、無痛分娩を扱っている施設で、すぐに対応できることは限られており、整備が進むには時間がかかる。
- 「安全な無痛分娩を提供するために必要な診療体制」が決まっていなかったため、今の無痛分娩施設の体制は非常に多様で、不十分と考えられる施設もある。
- 各施設は無痛分娩に関する情報をサイト等で発信しているが、それは自施設の良い点を強調していることが多く、都合の悪いことは載っていない。
- その間にも、お産はあり、無痛分娩を希望し必要とする妊産婦さんは沢山おられる。安全な体制の整備と平行して、妊産婦さんが自分のお産について、ちゃんとした情報に基づいて、自分で判断できる仕組みを作る必要がある。
  - 安全対策がどこまでできているか、判断できるような「情報公開の基準」を作り、無痛分娩施設には、それに基づいて情報公開してもらうようにする。
  - 「情報公開をしている施設」のリストを作り、妊産婦さんが自分でアクセスできる環境を作る。

「無痛分娩に関するワーキンググループ(仮称)」  
準備委員会における検討経過

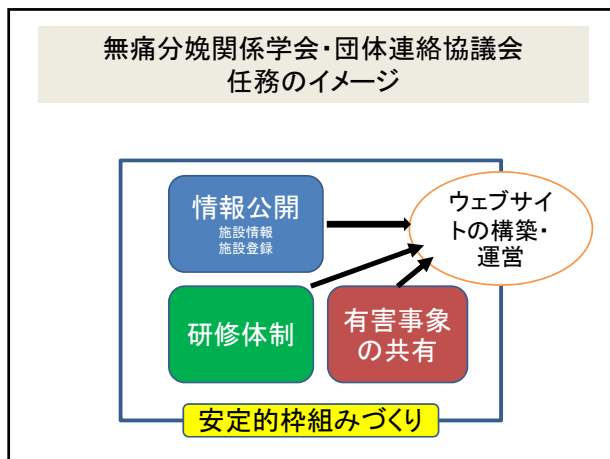
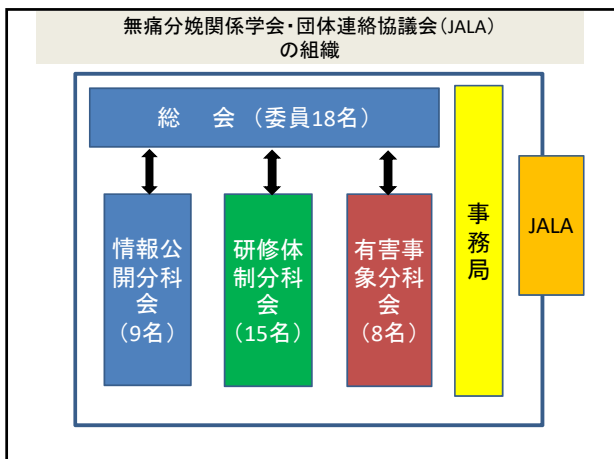
- 構成:日本医師会・日本看護協会・日本産科婦人科学会・日本産科麻酔学会・日本産婦人科医会・日本麻酔科学会からの推薦委員8名によって構成
- 検討事項
  - 新組織名「無痛分娩関係学会・団体連絡協議会」
  - 新組織の要綱案・運営細則案
  - 経費負担の方法
  - 協議会委員・構成員の検討
  - 事務局の担当団体
- 会議開催
  - 2018年3月31日:第1回会議
  - 2018年4月15日:第2回会議
  - 2018年5月24日:第3回会議

無痛分娩関係学会・団体連絡協議会  
組織のイメージと設立の目的

- 「特別研究班の『提言』を実現し、より安全な無痛分娩提供体制を作ること」
- わが国における安全な無痛分娩の提供体制を構築するために必要な施策等について継続的に検討し必要な情報を共有することを通じて、相互に協働し連携した活動を展開できる体制を整備し、安全で妊産婦の自己決定権を尊重した無痛分娩とその質の向上を実現することを目的とする。

無痛分娩関係学会・団体連絡協議会  
委員構成

構成団体	協議会委員	担当分科会
1 日本医師会	平川 俊夫	
2 日本看護協会	安達久美子	情報公開
3 日本産科婦人科学会	黒川 寿美江	有害事象
4 日本産科麻酔学会	石川 紀子	研修体制
5 日本産科婦人科学会	池田 智明	有害事象
6 日本産科麻酔学会	宮越 敬	情報公開
7 日本産科麻酔学会	伊東 宏晃	研修体制
8 日本産科麻酔学会	海野 信也	情報公開
9 日本産科麻酔学会	田中 基	研修体制
10 日本産科麻酔学会	加藤 里絵	有害事象
11 日本産科麻酔学会	石渡 勇	有害事象
12 日本産婦人科医会	前田 津紀夫	情報公開
13 日本産科麻酔学会	橋井 康二	研修体制
14 日本産科麻酔学会	飯田 宏樹	有害事象
15 日本麻酔科学会	横田 美幸	情報公開
16 日本麻酔科学会	近江 禎子	研修体制
17 医療安全の立場	後 信	
18 一般の立場	阿真 京子	



- ### 無痛分娩関係学会・団体連絡協議会 (JALA) 発足後の活動状況 (2019年3月24日版)
- 2018年7月：協議会発足総会開催
    - 名称の正式決定
    - 要綱の承認
    - 活動方針の決定
    - 分科会構成の決定
    - 事務局の決定
  - 2018年7月～12月：各分科会における検討
    - 情報公開分科会**：「無痛分娩診療体制情報公開事業」
      - 無痛分娩施設情報公開項目
      - 無痛分娩施設登録システム
    - 研修体制分科会**：「無痛分娩研修体制整備推進事業」
      - 研修会の内容
    - 有害事象分科会**：「無痛分娩有害事象収集分析事業」
      - 有害事象収集・分析・共有システムの構築
  - 2018年9月28日：第2回協議会総会開催
  - 2018年12月3日：第3回協議会総会開催
    - 池田班無痛分娩分担研究班との共同研究の承認

- ### 無痛分娩関係学会・団体連絡協議会 (JALA) 発足後の活動状況 (2019年3月24日版)
- 2018年12月～2019年1月：
    - 情報公開および施設登録開始準備
    - ウェブサイトの立ち上げ準備
    - 2019年1月6日：第1回モデル講習会の開催
    - 2019年1月30日：有害事象収集パイロットスタディの開始
  - 2019年2月5日：
    - 第4回協議会総会開催
  - 2019年2月：
    - 2019年2月10日：医療関係者向けウェブサイトの公開
    - 分娩施設への参画よびかけ発送
    - 無痛分娩施設登録開始
  - 2019年3月：
    - 2019年3月3日：第2回モデル講習会開催
    - 2019年3月13日：一般向けウェブサイトの公開
    - 2019年3月14日：無痛分娩施設リスト公開開始
    - 2019年3月15日：記者会見の開催
  - 2019年3月24日：
    - 第5回協議会総会開催
    - 市民公開講座を無痛分娩分担研究班との共催で開催**

### JALAはなぜできたのか 医師・医療スタッフの研修体制の整備

- 無痛分娩に関わる学会及び団体は、無痛分娩の安全な診療を目的として、無痛分娩に関わる医療スタッフが産科麻酔に関する知識や技術を維持し、最新の知識を更新するために、**必要な講習会を定期的に開催**すること。
- 無痛分娩に関わる学会及び団体は、無痛分娩を含む産科麻酔を担う人材を育成するために、「**産科麻酔研修プログラム(仮称)**」を策定し、研修を実施すること。
- 関係学会は、無痛分娩を含む産科麻酔の**認定医制度等の要否**について引き続き検討すること。

カテゴリー	A	B	C	D
講習会の内容	安全な産科麻酔の実施と安全管理に関する最新の知識の獲得及び技術の向上のための講習会	産科麻酔に関連した疾患への対応のための講習会	救急蘇生コース	安全な産科麻酔実施のための最新の知識を修得し、ケアの向上をはかるための講習会
無痛分娩研修管理者	●	●	○	
産科麻酔研修医	●	●	●	
無痛分娩研修産科麻酔有医師			○	●

- ### 研修体制分科会 「無痛分娩の安全な診療のための講習会」の内容の検討
- モデル講習会の開催
    - 2019年1月6日 参加者 42名
    - 2019年3月3日 参加者 45名
  - 「無痛分娩の安全な診療のための講習会」：2019年度より開始予定
    - カテゴリーA：「安全な産科麻酔の実施と安全管理に関する最新の知識の習得及び技術の向上のための講習会」
      - モデル講習会で実施し、内容を検討
    - カテゴリーB：「産科麻酔に関連した疾患への対応のための講習会」
      - J-CIMELS「産科麻酔外傷急変対応コース」を中心に検討
        - 2018年度 11回開催 総受講者数 156名
    - カテゴリーC：「救急蘇生コース」
      - J-MELS「ベーシックコース」J-PC3・ACLS・HCLS等のコースを認定する方向で検討
    - カテゴリーD：「安全な産科麻酔実施のための最新の知識を習得し、ケアの向上を図るための講習会」
      - 内容について検討中

## 有害事象分科会

- 「無痛分娩有害事象調査票」の作成
- 2019年1月30日:有害事象収集パイロットスタ  
ディの開始
- 2019年4月:モデル有害事象検討会の開催

19

## 情報公開分科会 JALAサイトについて

- JALAサイト「一般の方向け」
    - URL: <https://www.jalosite.org/>
  - JALAサイト「医療関係者向け」
    - URL: <https://www.jalosite.org/doc/>
- |                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>- 提供情報           <ul style="list-style-type: none"> <li>• 無痛分娩に関する情報</li> <li>• 無痛分娩Q&amp;A</li> <li>• 無痛分娩施設検索</li> <li>• 公開セミナー</li> <li>• JALA・厚生労働省無痛分娩関連<br/>研究班の紹介</li> </ul> </li> <li>- お問い合わせ窓口</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>- 提供情報           <ul style="list-style-type: none"> <li>• 無痛分娩に関する情報</li> <li>• 事業概要</li> <li>• 施設登録・検索</li> <li>• 講習会</li> <li>• 医療安全に関する情報</li> <li>• 研究班からの情報</li> </ul> </li> <li>- お問い合わせ窓口</li> </ul> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
- 「無痛分娩診療体制情報公開事業」への参画状況
    - 「施設データ登録システム」のURL、施設ログインID、パスワード送付施設 305
    - 公開依頼施設 35
    - 公開施設 22 (2019年3月22日現在)

20